

第11回(令和5年度) 福岡県高校生介護技術コンテスト 評価表 0216版

競技校

高等学校

審査委員名

評価項目	審査の参考ポイント	審査委員記入欄	採点
介護技術	身体の状況に応じた支援	身体状況への理解と対応 生活における心理面への理解と対応	□6 □5 □4 □3 □2
	潜在能力を活用した支援	一連の動作における潜在能力の活用 支援が必要な範囲への判断 リハビリテーションを意識した支援	□8 □6 □4 □2 □0
	ボディメカニクスを活用した支援	福岡さんのボディメカニクスの活用 介護者のボディメカニクスの活用	□6 □5 □4 □3 □2
	安全・安楽への留意と支援	安全・安楽な移動 安全・安楽な移乗 安全・安楽な姿勢	□8 □6 □4 □2 □0
	福祉用具・物品の活用	目的に応じた適切な福祉用具の活用 目的に応じた適切な物品の活用 適切な感染症対策と環境整備	□6 □5 □4 □3 □2
	チームケア	身体介護に見られる介護者の連携、分担 円滑な支援への工夫	□6 □5 □4 □3 □2
5段階評価	評価項目ごとの大変良い(数字の最高値)⇨良い⇨普通⇨努力を有する⇨不十分(数字の最低値)	小計	／40点

評価項目	審査の参考ポイント	審査委員記入欄	採点
コミュニケーション技術	挨拶などコミュニケーションの基本	適切な声量・距離 受容・傾聴の姿勢 状況に応じた気分・体調確認	□6 □5 □4 □3 □2
	自己決定	これから行う支援の流れについて説明 意思確認・同意 自己決定を促す声かけ	□6 □5 □4 □3 □2
	個別化自立支援	主体性を促す声かけ 心身状況の理解と配慮 生活意欲を引き出すアプローチ	□8 □6 □4 □2 □0
	訴えに対するアプローチ	言語的コミュニケーションの工夫 生活意欲を引き出すアプローチ 非言語的コミュニケーションの活用	□8 □6 □4 □2 □0
	介助中のコミュニケーション	年齢や心身に配慮したコミュニケーション 尊厳に基づくコミュニケーション 生活背景を理解したコミュニケーション	□6 □5 □4 □3 □2
	チームケア	介護者同士の連携 円滑な支援への工夫	□6 □5 □4 □3 □2
5段階評価	評価項目ごとの大変良い(数字の最高値)⇨良い⇨普通⇨努力を有する⇨不十分(数字の最低値)	小計	／40点

評価項目	ポイント	採点
アピール ※3分間 減点対象なし	※心理的・身体的状況の理解、アセスメントや介護計画の内容、エビデンスに基づいた創意工夫のある介護・きりりポイント(爽やかさ・明るさなど)などが基準	□20 □16 □12 □8 □4
20点(大変良い)16点(良い)12点(普通)8点(努力を有する)4点(不十分)	小計	／20点

採点結果	介護技術	コミュニケーション技術	アピール	合計点
	／40点	／40点	／20点	／60点

【競技時間について】

時間不足および時間超過した場合には審査委員ごとの合計点から5点を減

～5分59秒	6分～7分	7分01秒～
5点減	適性時間	5点減

競技時間
分 秒
最終得点
点

出場校へのコメント